

# 「市場縮小をどう生き抜くか」

## ヤマガタヤ 新春講演会



約200人が参加した講演会

建材卸や住宅内外装工事などを手掛けるヤマガタヤ（本社名古屋市中区）は26日、岐阜市橋本町のじゅうろくプラザ大会議室で、新春講演会を開催した。取引先担当者らが集まった。

講演に先立ち、吉田達弘社長があいさつ。「20代後半から30代の人口が今後10年間で20%減少する。市場縮小の中でどう生き抜くか、向こう3年が勝負」とした上で、自社の取り組みとして「6、7年前から社員職人を育てている。ポスト2020年を見据え、施工もアフターも、ヤマガタヤに頼もう」と言われるような、ファーストコールカンパニーを目指していきたい。社員

のモチベーションが高く希望の持てる、強い会社にしていききたいと話した。講演会では、「住宅産業大予測2018」と題し、新建築社長の三浦祐成社長が講演した。三浦社長は「2020年以降、工務店をはじめパワビルダー、ハウスメーカーなどさまざまな業者が住宅市場を食い合う状況になる」と指摘。見えそうで見えない市場「レインポーター」をいかに攻略するかが重要。市場の開

発力や、価値に気づかせる力をつけなければならぬ」と話した。また、「2019年の消費増税後は物価が下がり、景気は悪くなる」と予測。「消費者のコスパ思考が高まり、わかりやすく、買いやすい住宅が売れるようになる。持ち家市場は今後、前年比プラスになることはないだろう。新築注文住宅だけでなく企画住宅、中古、空き家の改装などいろいろなパターンが出てくる。対策を準備し、取り組みを進めるべきだ」と、警鐘を鳴らした。

また、「2019年の消費増税後は物価が下がり、景気は悪くなる」と予測。「消費者のコスパ思考が高まり、わかりやすく、買いやすい住宅が売れるようになる。持ち家市場は今後、前年比プラスになることはないだろう。新築注文住宅だけでなく企画住宅、中古、空き家の改装などいろいろなパターンが出てくる。対策を準備し、取り組みを進めるべきだ」と、警鐘を鳴らした。

宋の妙香園画廊で個展  
姫路城用模型瓦も披露

工房 邦

美術模型製作の工房邦（本社名古屋市中川区露橋町、中上義邦代表）は、名古屋市中区の妙香園画廊で、個展「お城大集合」を開いている。写真。30日まで。中上代表は現在、150

「山のように仕事が押し寄せてくる」。本人が処理できない範囲を超え、大変悩んでいる方に、以前、お会いしました。その状態がいつまでも続いてモチベーションが上がらないときに限って、膨大な量のし、本当に聡明な人は分かっ

### 着眼大局 着手小局

## 奮起を求められる人間

◆ 4 ◆

「やるべきこと」が迫ってくる。このような経験を持たれたことはないでしょうか。私を含め、多くの人が、集中して考え続けたり、前向きな気持を保ち続けたりすることが困難であると感じています。最も時間が無

まず。思考が明晰（めいせい）いきいきと、最も計画を立て

## バランスが崩れた時の対応法

### 意識の外に情報をいったん出す

く。このように、全体を俯瞰し、たとえ小さな

きかもしれません。不幸にも、いちばんやりたくない、いちばんやりにくいことこそが、いちばん効果的であることが現実にあります。現実が私たちに合わせてくれることは滅多にありません。私たちは、いつも順調で

はあります。私たちは意欲くつもありです。

## 起業家5人が事業計画

あいち産振機構 ビジネスプラン発表会

市 | 支援 | 表 | ヤ | 約 | 子 | 企 | 業 | 家 | 5 | 人 | が | 事 | 業 | 計 | 画 |



分の1サイスの本「国玉姫路城」を、世界遺産の姫路城を